

1. 災害時における愛玩動物との共生策を

犬や猫などのペットを飼い、家族の一員として共に暮らす方が増えている。大規模災害が発生した場合には、飼い主がペットを連れて避難所等に避難することが想定される。そのためには、飼い主の日頃からの心構えと備えが重要であると共に行政としての啓発が必要と考える。

本町の6430世帯のうち犬の登録数は1103頭で、約6軒に1軒の割合で犬と暮らしていることになる。猫も含めると相当数の家でペットと暮らしている。

平成28年3月付で開成町地域防災計画が作成されたが、ペット防災のガイドラインが飼い主の啓発にとどまっており、同行避難等については記述されていない。今や家族と共に暮らすペットは単なる動物ではなく「家族の一員」として家庭の中に溶け込んでおり、避難が必要になった場合「ペットを置いて人だけが避難する」と言う状況は考えにくい社会となっている。

地震、水害などの災害発生時のペット対策をどの様に講じるかは危機管理上も避難所運営上も大きな問題と考え、次の質問をする。

- ① 地域防災拠点や避難所へのペットとの同行避難対応についてのガイドラインや避難訓練をどのように考えているか。
- ② 各地域の公園でペット類を含めた防災教室を実施する考えは。